

がん征圧講演会を開催しましたーがんの診断・治療の最前線ー

●日時：平成18年9月23日（土） ●場所：愛知県がんセンター内国際医学交流センター

がんセンターでは県民の皆様を対象とした公開講座を「がんー予防から治療までー」をメインテーマに毎年4回程開催しています。特に「がん征圧月間」である9月にはがん征圧講演会として開催しており、本年度もさわやかな秋晴れの中、会場にはたくさんの方々がお足を運んでくださいました。

今回は、研究所・中央病院・愛知病院の医師・看護師が最先端の研究や治療、緩和ケアについて講演を行いました。講演終了後は参加者の皆様からたくさんの質問を頂戴し、あらためてがんに対する意識の高さを感じました。



▲熱心に耳を傾ける受講者のみなさん

第1部 新しい診断・治療

1. 胃がん手術後の再発を予防するための新しい診断・治療法の開発
2. 科学的な免疫療法の実現をめざして

第2部 緩和ケア

1. 緩和ケアが目指すもの
2. がん医療において精神科医にできること
3. ここまできた痛みのコントロール

研究所で「高校生実験・体験コース」を開催しました

分子腫瘍学部 部長 関戸好孝（研究所広報担当責任者）

8月18日、夏休みを利用した「高校生実験・体験コース」を開催し、愛知県、岐阜県の高中生15名が参加しました。今年は「中皮腫」がテーマで細胞を特殊な顕微鏡で観察しました。

中皮腫細胞に特異的に発現する蛋白質が緑色や赤色に染まると高校生からは思わず感嘆の声が漏れていました。高校生らは、研究の面白さが感じられただけでなく、研究所職員との対話を通じて自分達の進路についても色々と考えることができ、とても楽しかったと感想を述べていました。



低線量・低線量率放射線の影響

私達は放射線等による発がん機構の解明のため、一般の人でも被爆する可能性が考えられる低線量の放射線のヒト細胞への影響を研究しています。

一度に照射（高線量率照射）すると細胞の大部分を殺してしまう線量（約5 Gy）を2週間かけてゆっくり照射（低線量率照射）すると図1Aに示すように、細胞への致死効果は大きく減少して多くの細胞は生存できるようになります。また発がんの重要なメカニズムとなっている突然変異誘発についても図1Bに示すように、高線量率照射に比べて低線量率照射では変異の誘発率が大きく低下します。この様な状態での細胞遺伝子（DNA）に残された損傷

（DNA 2重鎖切断）の数を調べてみると図2に示すように低線量率照射の際は被曝後残されているDNA損傷はほとんどなく、損傷の多くが被曝中に修復されていることがわかりました。

このような細胞の持つDNA損傷修復のメカニズムを知ることは発がんの予防にも大きく貢献すると考えられ、現在この修復メカニズムを分子レベルで研究しています。

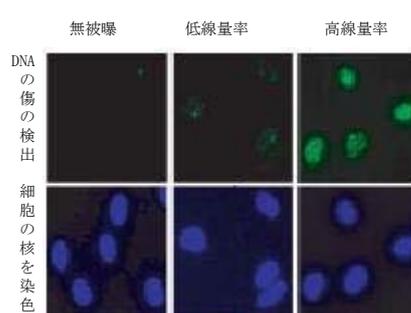
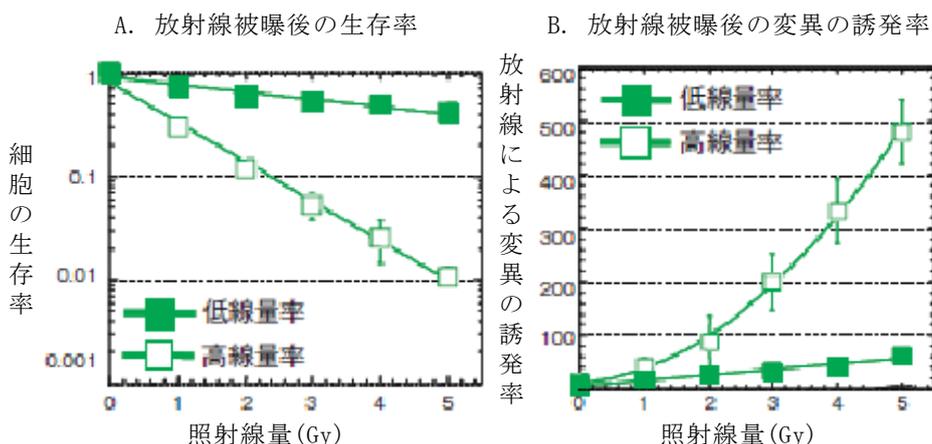


研究所
中央実験部

部長 石崎寛治

図1

図2. 放射線被曝後のDNA損傷の数



愛知県がんセンター中央病院の患者さまのウェブ上治療コミュニティができました！



その名は、「アンチ・キャンサー・リーグ」(Anti-Cancer League:ACL) 訳すと「反がん同盟」。

「がん」が英語で“Cancer” (カニ) と呼ばれるのは、がんの血管などの組織がカニの姿に見えるからだそうです。ロゴマークにもカニをあしらいました。

メンバーは、当院での入院治療において緩和ケアを体験された方々、及びそのご家族です。緩和医療委員会メンバーが編集スタッフとして共同参加しています。メンバー及びスタッフの投稿が多くの方々に共有されることによって、いわゆる医療情報を超えた、さまざまな効果が期待されています。特に、当院で治療を受けておられる患者さまにとっては、同じ病院で治療を受けている方々とのつながりを感じることによって、ともしれば孤立感を抱きがちな長期治療においてもいくらかの連帯感が得られるのではないかと思います。二ヶ月に一度（偶数月の第一木曜）、スタッフミーティングで検討の上、更新する予定です。

このページが、皆様のお役に立つことを願って止みません。アドレスはこちら↓です。

Aichi Cancer Center News

中央病院からの報告

安全で効率的な治療基盤を目指して

外来部には脳神経外科、皮膚科、眼科が所属し、週1～2回の外来診察をそれぞれ、代務の医師により行っております。常勤医師はいませんが、当院でのがん診療を安全にそして円滑に進めるためにはなくてはならない役割を果たしています。

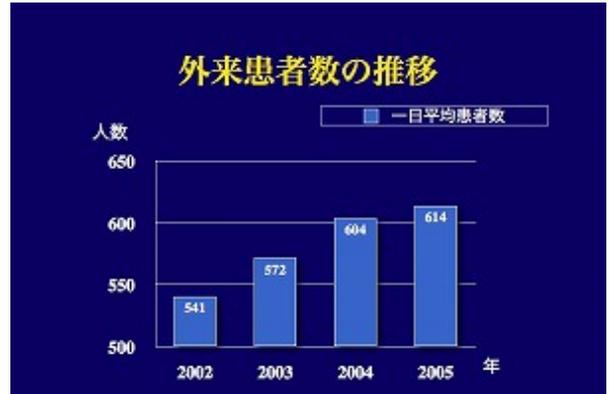


中央病院
外来部

部長 平井 孝

また、増加する患者数に対して（図1）各科にわたる外来部門で横断的に効率の良い運用を行なうのも外来部の役割です。外来化学療法センターはその一つで、増加する外来化学療法患者数に対応するために、平成17年12月5日（月）開設。

図1. 外来患者数の推移



リクライニングシートタイプの処置ベッド（図2）を含めて29床を用意し、専任看護師、受付クラークも配置し、薬剤部の協力を得て、現在、化学療法を受ける方は一日約50～80人です。

10月からは臨床科共同の点滴当番制を敷き、安全で効率的な治療基盤を目指しています。また、診療待ち時間の短縮は従来からの課題です。再来予約は軌道に乗りましたが、新患予約の導入についても各科の協力を得ながら検討を進めていく予定です。

図2. リクライニングシート



診察医の紹介 今回は、内視鏡部です。

内視鏡部では、食道がん・胃がん・大腸がんなどの消化管腫瘍の診断と内視鏡治療を主に行っています。

当部の目標は、安全で苦痛のない内視鏡検査と正確な診断、安全確実な内視鏡治療であり、患者さまの立場にたった医療を提供してまいります。



部長 中村常哉



医長 田近正洋



医長 河合宏紀

お知らせ



敷地内は全面禁煙となりました!

がんセンターでは、がんに対する最先端の診断・治療・研究を行うがん診療拠点病院として禁煙活動をより一層推進するため、平成18年9月1日から敷地内を全面禁煙としました。

Aichi Cancer Center News

主な診療案内

平成18年10月1日現在の中央病院外来診療担当一覧です。

受付時間：午前8時30分から午前11時30分まで

(自動再来受付機) 午前8時から午前11時30分まで

診療科	月	火	水	木	金
総合初診	波多野	樋田	山雄	森島	中村(常)
消化器内科	山雄(初診) 田近・河合	山雄(初診) 水野・河合・澤木	山雄(初診) 石川・澤木	澤木(初診) 中村(常)・石川	中村(常)(初診) 田近・水野
呼吸器内科	吉田(初診) 堀尾	樋田(初診) 吉田	清水(初診) 樋田	堀尾(初診) 清水	(初診交代制) 樋田・吉田・ 堀尾・清水
循環器	波多野			波多野	
血液・細胞療法	山本(初診)鏡味・ 田地	森島(初診)・山本	鏡味(初診)・田地	森島(初診)・山本	田地(初診)・鏡味
薬物療法	室	宇良	室	宇良	室
頭頸部外科	長谷川・小川		長谷川・兵藤	(予約のみ) 寺田(第1・3)・ 小川(第2・4) (第5交代制) 長谷川・寺田・小 川・兵藤	寺田 兵藤(第2・4予約の み)
胸部外科	(予約のみ)	福井	(予約のみ)	光富・波戸岡	光富・篠田 波戸岡・森
乳腺科	藤田(初診) 角田・林	林(初診) 岩田・角田	角田(初診) 岩田・山下	山下(初診) 岩田・林・藤田	岩田(初診)・角田 山下・藤田(午前の み)
消化器外科	山村(第2・4) 伊藤(第1・3・ 5)・小森	金光・望月	加藤・山村・清水	佐野・平井・伊藤	(予約のみ)
整形外科	杉浦・山田	杉浦	山田		杉浦(第1・3・5) 山田(第2・4)
泌尿器科	林・小倉		脇田・小倉		林・脇田
婦人科	丹羽(初診) 水野(初診)	伊藤(初診)・中西 丹羽(第1・3・5) 水野(第2・4)	水野(初診、第1・ 3・5) 丹羽(初診、第2・ 4) 伊藤	中西(初診) 水野・丹羽	中西(初診)
放射線診断・ IVR科	稲葉(初診)・佐藤		稲葉(初診)・山浦		稲葉・名嶋
放射線治療科	不破・古平・中村	古平・立花	不破・立花・中村	不破・立花	不破・古平・中村

※ 医師名の後の数字は、月の週を表します。※変更(休診)等がございますので、お電話でご確認ください。

※ 再診予約制：診察券をお持ちの方は、診察予約をしてください。

電話 052-764-2911(直通) 午前9時～午後5時(土・日・祝・年末年始除く)

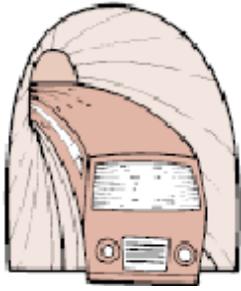
交通案内

地下鉄利用：「自由ヶ丘」2番出口から 徒歩7分

◎ 名古屋・栄から

所要時間：名古屋から約30分

東山線「藤ヶ丘」行き乗車、「本山」乗り換え、名城線「左回り」乗車、「自由ヶ丘」下車。



- ◎ 金山・栄・大曾根から 所要時間：金山から約35分
名城線乗車、「自由ヶ丘」下車。
- 市バス利用：「千種台中学校」下車 徒歩4分**
- ◎ 名古屋駅から 所要時間：名古屋駅から約40分
基幹2系統「光ヶ丘」または「猪高車庫」行き乗車、「千種台中学校」下車。
- ◎ 星ヶ丘から 所要時間：星ヶ丘から約20分
星丘11系統「地下鉄自由ヶ丘」行き乗車、「千種台中学校」下車。

所在地 〒464-8681 名古屋市千種区鹿子殿1-1
URL : <http://www.pref.aichi.jp/cancer-center/>

Tel. (052) 762- 6111
Fax. (052) 764-1923